

名古屋大学大学院環境学研究科 特任助教(国際担当)公募要領

1	募 集 件 名	特任助教の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院環境学研究科 国際化推進担当	
4	募 集 内 容	[職務内容] (雇入れ直後) 1. 海外スタディプログラムに関する授業科目の担当および運営の主導 2. 国外大学との部局間協定に関わる交渉・管理業務の推進 3. 大学院の国際化推進に関する授業のコーディネートおよび授業支援 4. 多文化共修 Workshop の企画・準備・運営の主導的な役割 5. 環境学の国際室、国際化推進関連業務における研修、研究プロジェクトへの協力、ならびに当該プログラム受講生の相談対応・サポート業務 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 特任助教・1名	
		[着任時期] 2025年10月1日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	自然科学一般、環境、社会学
		小分類	国際関係、その他
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（採用日から2026年3月31日まで） 契約の更新可能性：有（契約期間満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断） 通算契約期間：最長2028年3月31日まで	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] 1. 修士の学位を持つか、採用日までに取得見込であること。 2. 英語により、海外の大学等との対外的なコーディネート業務が遂行できる程度の語学力があること。 3. 大学院における国際教育・交流プログラムに関心があり、積極的に取り組む意欲があること 4. 国際的な交渉や調整業務に対応できる柔軟性と協調性を備えていること 5. 国籍は問わないが、日本語と英語でのコミュニケーションが取れ、協調性をもってあたれること。	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。	

		https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm ・ 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなします。 ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・ 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・ 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2025 年 6 月 6 日～2025 年 7 月 30 日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 提出書類（様式：https://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html） (1) 履歴書（写真添付、学歴、職歴、E-mailアドレス記載） (2) 研究業績リスト（国際会議論文、その他発表論文など） (3) 研究業績の要約（日本語または英語でA4用紙1枚程度／様式任意／研究業績リストの主な業績と対応させること） (4) 持続可能性や環境課題へのグローバルな取り組みに関する構想、多文化共修に関する教育・実践への意欲、自身の専門性を活かしたグローバルスタディの展開と学生の国際的育成への貢献などの観点を踏まえて記述してください。（日本語または英語でA4用紙2枚程度／様式任意） (5) 主要論文の別刷（3編程度、オープンアクセス論文はDOIでも可） (6) 応募者の業績についてこちらから問い合わせができる研究者1名の名前と連絡先 (7) 類型該当性の自己申告書（「11 その他」の欄を参照） 上記(1)～(7)までの書類一式を1つのPDFファイルにまとめて、下記の応募書類提出用URLにアップロードしてください。PDFファイル名は「名大環境学特任助教応募（氏名）」としてください。また、アップロード後に下記の問い合わせ先メールアドレスに応募書類をアップロードした旨ご連絡ください。 応募書類提出用 URL https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/JxjnrFE84Lmq9pJ 問い合わせ先： 名古屋大学大学院環境学研究科 全 素賢（CHUN Sohyun） Tel：052-789-3031 E-mail：chun@nagoya-u.jp
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・ 書類選考の上、面接を2025年8/9月中に実施予定。 ・ 面接実施者については、電話もしくはメールで連絡を行う。
11	そ の 他	・ 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・ 面接に要する交通費は支給しません。 ・ 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供

	の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともに提出してください。 https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport/overview/folder ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言: https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--